平成29年度長良川河口堰県民調査団 実施状況

実施日	平成29年10月27日(金)
調査テーマ	治水対策 河口堰管理状況
調査箇所	アクアプラザながら 長良川河口堰 海津市生涯学習センター (講義)
調査メンバー	長良川河口堰調査検討会委員 漁業協同組合 県土地改良事業団体連合会 高須輪中土地改良区 学生・教員 県市町関係 公募 出席者 67人

【調 査 風 景】



写真:海津市生涯学習センター

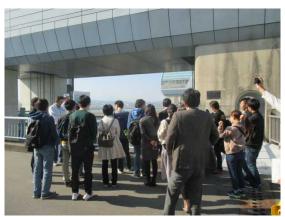
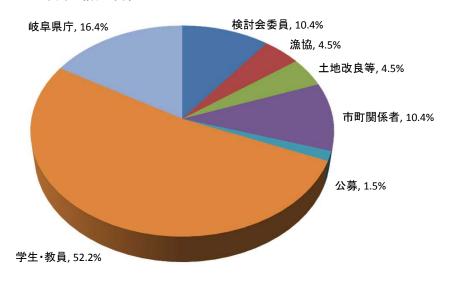


写真:長良川河口堰

1. 参加者構成

所属•団体等	検討会委員	漁協	土地改良等	市町関係者	公募	学生·教員	岐阜県庁	合計
員数(人)	7	3	3	7	1	35	11	67
構成比	10.4%	4.5%	4.5%	10.4%	1.5%	52.2%	16.4%	100.0%

※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。

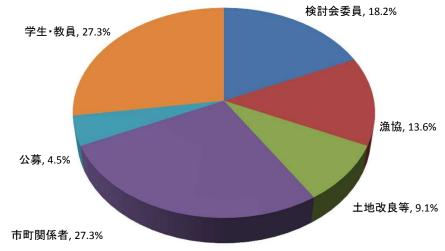


2. 調査票回収結果

所属•団体等	検討会委員	漁協	土地改良等	市町関係者	公募	学生·教員	合計
アンケート対象数(人)	6	3	3	7	1	30	50
回収数(人)	4	3	2	6	1	6	22
構成比	18.2%	13.6%	9.1%	27.3%	4.5%	27.3%	100.0%
回収率	66.7%	100.0%	66.7%	85.7%	100.0%	20.0%	44.0%

[※]参加者の内、部分参加(6人)・県職員(11人)については、アンケート対象から除いている。

[※]構成比は四捨五入の関係で、100.0%にならない場合がある。



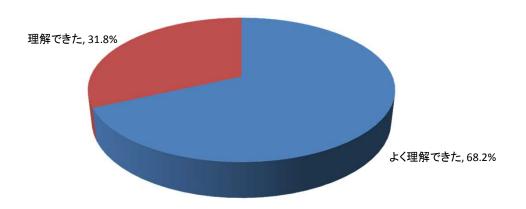
3. アンケート調査結果(各箇所での説明についいて)

(1)海津市生涯学習センター

①木曾三川の歴史

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	無回答	
合計	15	7	0	0	22
構成比	68.2%	31.8%	0.0%	0.0%	100.0%

[※]構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。



②最近の治水事業について

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	無回答	
合計	12	9	1	0	22
構成比	54.5%	40.9%	4.5%	0.0%	100.0%

[※]構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。



(2)長良川河口堰

①河口堰の機能や必要性について

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	無回答	
合計	13	8	1	0	22
構成比	59.1%	36.4%	4.5%	0.0%	100.0%

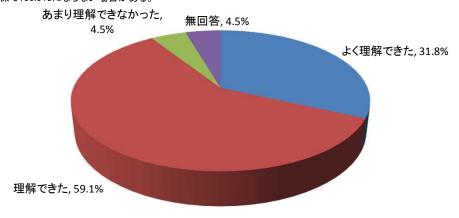
[※]構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。



②河口堰を含む治水対策の効果について

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	無回答	
合計	7	13	1	1	22
構成比	31.8%	59.1%	4.5%	4.5%	100.0%

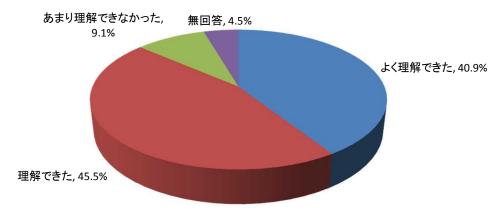
※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。



③河口堰周辺の環境(水質、魚類、底質)について

	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	無回答	
合計	9	10	2	1	22
構成比	40.9%	45.5%	9.1%	4.5%	100.0%

※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。



アンケート調査結果 (河口堰周辺の環境について)

(1)長良川の水質について

	現状では大きな問題はなく、こ のまま推移を見守っていくべき	もう少し改善していくよう努力すべき	今のままではなく、抜本的な改 善が必要	無回答	
合計	14	6	1	1	22
構成比	63.6%	27.3%	4.5%	4.5%	100.0%

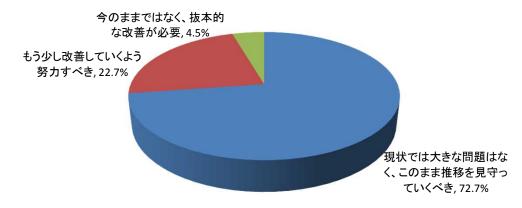
※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。



(2) 魚類の遡上、降下の状況について

	現状では大きな問題はなく、こ のまま推移を見守っていくべき	もう少し改善していくよう努力すべき	今のままではなく、抜本的な改 善が必要	無回答	
合計	16	5	1	0	22
構成比	72.7%	22.7%	4.5%	0.0%	100.0%

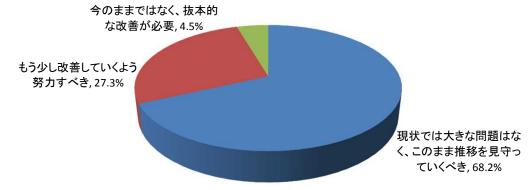
※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。



(3)底質

	現状では大きな問題はなく、こ のまま推移を見守っていくべき	もう少し改善していくよう努力 すべき	今のままではなく、抜本的な改 善が必要	無回答	
合計	15	6	1	0	22
構成比	68.2%	27.3%	4.5%	0.0%	100.0%

※構成比は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。



〇 参加者から寄せられた意見

● 長良川河口堰

【治水・利水について】

- No.1-1 河口堰の現場を見学し、水害に対して工事がよくできて、安心感が出た。
- No. 1-2 まるで「治水のために計画され、建設された施設。知多半島への水道水供給は素晴らしい付随的効果」みたいに話をこしらえてしまったのには呆れた。
- No. 1-3 上流部への治水効果を迅速に希望します。
- No. 1-4 (治水対策の)効果は出ていると思います。効果の確認のための数値の積み重ねにより、よりそれが強固なものにして頂きたい。
- No.1-5 土砂の再堆積の経過については、情報公開された方が良いのではないかと 思います。
- No.1-6 水位低下効果について、確か当時の河床高で計算がされていたと思うが、 (学) 河床変動の影響が気になりました。
- No.1-7 浚渫を一度して終わりではなく、今後も定期的な浚渫の実施を

【環境について】

- No. 2-1 できる限り環境に配慮した運用を望みます。
- No. 2-2 卵のふ化については、初めて知りました。
- No. 2-3 「フラッシュ操作で頑張っています」というけど、なぜフラッシュ操作を しなければならないのか一誰がみても長良川下流部の水質が悪いから。そ こをゴマかすから、ヘンな話になっている。
- No.2-4 運用の中で多くの改善が行われてきたことについてももっと P R してはいかがでしょうか。

【施設について】

- No.3-1 海津市の長良川沿いに住む自分達にとっては、なくてはならないものである。
- No.3-2 堰は障害物になっている。アユの稚魚が降下できないまま死んで行っている。川一海をつなぐ生物の連鎖(世代的連鎖も)が断ち切られている。開門に向けて動き出すべきとき。
- No.3-3 愛知県から要望のある「河川堰開門調査」について、開門出来ない理由などの話があっても良かったと思う。

No.3-4 ダムを作ることができない川では氾濫を防ぐために浚渫を行い、海からの (学) 海水をブロックすることは初めて知りました。今後の学習に役立てていき たいです。

【その他について】

- No. 4-1 いろいろな立場でいろいろな議論をする人がいますが、そこに住む人が豊かな心で生活できることを基本に考えて欲しい。
- No. 4-2 長良川河口堰は社会的な装置であり、この運用において多くの継続的かつ 科学的な取り組みがなされ、改善されていることを世に問うてはいかがで しょうか。仮説と検証の繰り返しが適正になされている好例と受け止めて おります。

● 講義

【木曽三川の歴史、最近の治水事業】

- No.5-1 とてもわかりやすくて良かった。歴史を知ることは、現代の課題の参考になる、若い世代にも引き継いでもらいたい。
- No.5-2 宝暦治水、明治の改修について改めて理解できた。
- No.5-3 短い時間の中で「近代治水」に関する要点をよくまとめておられた。もっと時間をかけて「木曾三川の歴史」の講義を拝聴したいと思った。
- No.5-4 これからも木曾三川を管理していく上で、過去に何があったのかを知るこ (学) とは大切なことだと思いました。
- No.5-5 治水と環境保全のバランスをうまく考えた事業を行っていただきたい
- No.5-6 浚渫、護岸工事により、安心して生活できるようになった。
- No.5-7 近年はゲリラ豪雨なるものが当たり前。以前の常識は通用しません。雨対 策の想定をUPし、対応の充実が望まれるところです。
- No. 5-8 高潮堤防について一般の方はあまり御存知ではないと思われますので、理解を深める上で有意義なご説明であったと思います。
- No.5-9 河川防災ステーションで何をしているのかいまいちわからなかった。 (学)

● その他全体について

No. 7-1 説明も分かりやすく有意義な調査でした。初めて知ることも多かったので、このような活動を続けて行く事は本当に大切であると感じます。